



もっとつながる。未来が動き出す。

2024年度 第1四半期決算について

(2025年3月期 第1四半期決算短信補足資料)

2024年8月1日

西日本旅客鉄道株式会社

1. 決算概要

<連結決算>

(単位：億円、%)

	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	対前年		2024年度 通期予想	対前年	
			増減	比率		増減	比率
営業収益	3,692	4,027	335	109.1	17,180	829	105.1
(うち運輸収入)	1,975	2,125	149	※ 107.6	8,870	464	105.5
営業利益	522	582	60	111.5	1,700	△ 97	94.6
経常利益	486	552	66	113.6	1,555	△ 118	92.9
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	333	382	49	114.9	1,000	12	101.3

※運輸収入対コロナ前比 2019年比 : 95.2%
2018年度比 : 99.4%

■ 決算のポイント

1. 概要

2. セグメント

- ・お客様のご利用回復及び北陸新幹線の敦賀延伸効果等により、**4期連続の増収増益**
- ・**モビリティ業、流通業**は、ご利用の回復や敦賀延伸効果、インバウンド需要増等により、**増収増益**
- ・**不動産業**は、まちづくりP Jの開業に向けた経費増があったものの、不動産販売の増等により、**増収増益**
- ・**旅行・地域ソリューション業**は、旅行需要は増加も、前年コロナ関連受託事業の売上が減少し、**減収減益**

■ 業績予想

- ・2024年度の業績予想は、概ね想定の範囲内で推移していることから、4月30日公表の予想を据え置き

■ 株主還元

- ・500億円を上限に**自己株式を取得**(6月末時点で**285億円**)。年間配当は1株あたり72円の予想を据え置き

2. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	対前年		主な増減要因	2024年度 通期予想	対前年	
			増減	比 率			増減	比 率
営業収益	3,692	4,027	335	109.1	【4期連続の増収】	17,180	829	105.1
モビリティ業	2,215	2,394	178	108.1	運輸収入の増	10,375	510	105.2
流通業	465	497	32	107.0	物販飲食業の増	2,015	44	102.3
不動産業	463	633	170	136.8	不動産賃貸販売の増、ホテル業の増	2,375	197	109.1
旅行・地域ソリューション業	496	442	△ 53	89.2	受託事業の減	2,130	69	103.4
その他	52	59	6	113.2		285	6	102.3
営業費用	3,170	3,445	274	108.7		15,480	927	106.4
営業利益	522	582	60	111.5	【4期連続の増益】	1,700	△ 97	94.6
モビリティ業	328	395	67	120.4	運輸収入の増	1,200	55	104.8
流通業	34	39	5	114.7	物販飲食業の増	120	△ 10	91.8
不動産業	103	132	28	127.4	不動産賃貸販売の増、ホテル業の減	350	△ 56	86.1
旅行・地域ソリューション業	51	5	△ 46	10.4	受託事業の減	15	△ 63	19.1
その他	1	7	5	532.3		30	△ 12	70.9
営業外損益	△ 35	△ 29	5	—		△ 145	△ 21	—
経常利益	486	552	66	113.6	【4期連続の増益】	1,555	△ 118	92.9
特別損益	△ 1	7	8	—		△ 50	172	—
法人税等	137	169	32	123.6		455	46	111.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	333	382	49	114.9	【2期ぶりの増益】	1,000	12	101.3
四半期包括利益	365	397	31	108.6	うち親会社株主に係る四半期包括利益 389	—	—	—

3. 各セグメントの主な増減要因

(単位：億円、%)

		2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	対前年		主な増減要因	
				増減	比率		
モビリティ業		営業収益	2,215	2,394	178	108.1	・鉄道のご利用回復、インバウンドの増
		営業利益	328	395	67	120.4	
流通業	物販・飲食	営業収益	407	436	28	107.0	・構内店舗売上の増
		【再掲:宿泊特化型ホテル】	【50】	【58】	【7】	【115.6】	・客室平均単価の増
		営業利益	30	34	3	111.4	
		【再掲:宿泊特化型ホテル】	【8】	【11】	【3】	【144.5】	
	百貨店	営業収益	53	57	3	107.0	・免税売上の増
		営業利益	3	4	1	150.8	
不動産業	不動産賃貸・販売	営業収益	225	376	150	166.8	・投資家向け販売の増
		【再掲:不動産販売】	【91】	【216】	【125】	【236.9】	
		営業利益	52	78	26	149.7	
		【再掲:不動産販売】	【9】	【19】	【10】	【207.1】	
	ショッピングセンター	営業収益	142	150	8	105.9	・SC売上高増による賃料収入の増
		営業利益	27	33	5	121.3	
	ホテル	営業収益	92	103	10	111.7	・客室平均単価の増
		営業利益	2	△ 6	△ 9	－	・大阪ステーションホテル開業経費
旅行・地域ソリューション業		営業収益	496	442	△ 53	89.2	・受託事業の反動減
		営業利益	51	5	△ 46	10.4	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

4. 単体損益計算書

(単位：億円、%)

	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	対前年		主な増減要因	2024年度 通期予想	対前年	
			増減	比 率			増減	比 率
営業収益	2,214	2,374	160	107.2	【4期連続の増収】	9,920	477	105.1
運輸収入	1,975	2,125	149	107.6		8,870	464	105.5
運輸附帯収入	38	37	△ 0	98.8		155	△ 4	97.3
関連事業収入	70	71	1	101.8		280	△ 4	98.4
その他収入	130	140	9	107.5	会社間清算の増 等	614	22	103.7
営業費用	1,837	1,932	95	105.2		8,720	431	105.2
		うち構造改革△75				うち構造改革△380		
人件費	481	518	37	107.8	賞与の増 等	2,055	10	100.5
物件費	885	915	29	103.4		4,595	298	106.9
動力費	164	142	△ 22	86.3	燃料単価の減 等	600	△ 0	99.9
修繕費	255	264	9	103.7		1,660	78	105.0
業務費	464	508	43	109.3	会社間清算の増 WESTER関連経費の増 等	2,335	220	110.4
線路使用料等	66	89	23	134.4	北幹敦賀延伸による増	355	82	130.5
租税公課	94	96	2	102.3		400	5	101.3
減価償却費	309	312	2	100.8		1,315	34	102.7
営業利益	376	441	65	117.3	【4期連続の増益】	1,200	45	103.9

5. 運輸収入及び輸送人キロ

運輸収入

(単位：億円、%)

輸送人キロ

(単位：百万人キロ、%)

			2024年度 第1四半期	対前年		対2019年前 (2019年比)	2024年度 通期予想	対前年		2024年度 第1四半期	対前年		対2019年前 (2019年比)
				増減	比率			増減	比率		増減	比率	
新幹線	山陽	定期	28	1	103.8	107.5	—	—	—	231	11	105.4	108.8
		定期外	970	65	107.2	95.2	—	—	—	4,163	53	101.3	86.9
		計	998	66	107.1	95.5	4,270	215	105.3	4,394	65	101.5	87.9
	北陸	定期	4	2	204.1	207.0	—	—	—	32	17	216.0	211.4
		定期外	173	84	194.1	171.1	—	—	—	562	275	196.2	171.4
		計	178	86	194.3	171.8	780	357	184.4	594	293	197.2	173.2
	定期		33	3	111.5	115.3	—	—	—	263	29	112.6	115.8
	定期外		1,144	149	115.0	102.0	—	—	—	4,725	329	107.5	92.3
	計		1,177	152	114.9	102.4	5,050	572	112.8	4,989	358	107.7	93.3
在来線	近畿圏	定期	274	7	102.8	92.4	—	—	—	4,399	49	101.1	90.2
		定期外	484	32	107.1	94.6	—	—	—	2,492	105	104.4	87.6
		計	758	39	105.5	93.8	3,050	107	103.6	6,891	155	102.3	89.2
	その他	定期	52	△ 3	93.3	83.3	—	—	—	893	△ 66	93.1	84.5
		定期外	136	△ 39	77.7	64.6	—	—	—	645	△ 183	77.9	62.6
		計	188	△ 42	81.5	68.9	770	△ 215	78.1	1,539	△ 249	86.0	73.7
	定期		327	3	101.2	90.8	—	—	—	5,293	△ 16	99.7	89.1
	定期外		620	△ 6	98.9	85.8	—	—	—	3,138	△ 77	97.6	81.0
	計		947	△ 3	99.7	87.5	3,820	△ 108	97.2	8,431	△ 94	98.9	85.9
合計	定期		360	7	102.0	92.6	—	—	—	5,556	13	100.2	90.1
	定期外		1,764	142	108.8	95.7	—	—	—	7,864	251	103.3	87.4
	計		2,125	149	107.6	95.2	8,870	464	105.5	13,421	264	102.0	88.5

6. 運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

			2024年度 第1四半期				
			対前年		主な増減要因		
			増減	比率			
新幹線	山陽	998	66	107.1%	基礎トレンド(100.0%)		
					特殊要因	・移動需要の回復	+49
						・インバウンド需要の増	+5
						等	
	北陸	178	86	194.3%	基礎トレンド(100.0%)		
					特殊要因	・北陸新幹線敦賀延伸	+86
						等	
						新幹線計	1,177
	在来線	近畿圏	758	39	105.5%	基礎トレンド(100.0%)	
特殊要因						・移動需要の回復	+29
						・インバウンド需要の増	+10
						・北陸新幹線敦賀延伸	△ 3
その他		188	△ 42	81.5%	基礎トレンド(100.0%)		
					特殊要因	・移動需要の回復	+14
						・インバウンド需要の増	+1
						・北陸新幹線敦賀延伸	△ 58
在来線計		947	△ 3	99.7%			
運輸収入計		2,125	149	107.6%			

※ 荷物収入は金額些少のため省略

7. 設備投資

(単位：億円、%)

	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	対 前 年		2024年度 通期計画
			増減	比率	
連結設備投資計	440	488	48	110.9	—
自己資金	428	479	50	111.9	2,940
負担金	12	9	△ 2	77.0	—
単体設備投資計	203	191	△ 11	94.2	—
自己資金	191	182	△ 9	95.3	1,740
(再掲) (安全関連投資)	(138)	(135)	(△ 2)	(98.0)	(1,010)
(その他)	(53)	(47)	(△ 6)	(88.2)	(730)
負担金	12	9	△ 2	77.0	—

・主な設備投資件名（単体）

車両新製（N700S・やくも・岡山近郊）、保安防災対策（地震対策）等

8. 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2023年度 期末	2024年度 第1四半期末	対前年	主な増減要因																																			
流動資産	7,009	5,392	△ 1,616	受取手形及び売掛金の減、未収金の減																																			
現金及び預金	2,334	1,347	△ 987																																				
棚卸資産	1,606	1,743	137																																				
その他の流動資産	3,068	2,302	△ 766																																				
固定資産	30,789	30,735	△ 53																																				
有形固定資産等	25,572	25,528	△ 43																																				
建設仮勘定	1,226	1,328	101																																				
投資その他の資産	3,989	3,878	△ 111																																				
繰延資産	1	0	△ 1																																				
資産計	37,800	36,129	△ 1,671																																				
流動負債	7,101	6,453	△ 647	<table><tr><td></td><td>2023期末</td><td>2024.1Q</td><td>増減</td></tr><tr><td>有利子負債残高</td><td>15,634</td><td>14,914</td><td>△ 720</td></tr><tr><td>【有利子負債平均金利(%)】</td><td>【1.22】</td><td>【1.25】</td><td>【0.03】</td></tr><tr><td>新幹線債務</td><td>974</td><td>974</td><td>－</td></tr><tr><td>【新幹線債務平均金利(%)】</td><td>【6.55】</td><td>【6.55】</td><td>【－】</td></tr><tr><td>社債</td><td>8,599</td><td>8,104</td><td>△ 494</td></tr><tr><td>【社債平均金利(%)】</td><td>【1.01】</td><td>【1.07】</td><td>【0.06】</td></tr><tr><td>その他長期借入金等</td><td>6,060</td><td>5,835</td><td>△ 225</td></tr></table>					2023期末	2024.1Q	増減	有利子負債残高	15,634	14,914	△ 720	【有利子負債平均金利(%)】	【1.22】	【1.25】	【0.03】	新幹線債務	974	974	－	【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【－】	社債	8,599	8,104	△ 494	【社債平均金利(%)】	【1.01】	【1.07】	【0.06】	その他長期借入金等	6,060	5,835	△ 225
	2023期末	2024.1Q	増減																																				
有利子負債残高	15,634	14,914	△ 720																																				
【有利子負債平均金利(%)】	【1.22】	【1.25】	【0.03】																																				
新幹線債務	974	974	－																																				
【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【－】																																				
社債	8,599	8,104	△ 494																																				
【社債平均金利(%)】	【1.01】	【1.07】	【0.06】																																				
その他長期借入金等	6,060	5,835	△ 225																																				
1年内返済予定長期借入	1,384	1,612	227																																				
未払金等	5,717	4,841	△ 875																																				
固定負債	18,427	17,500	△ 927																																				
社債・長期借入金等	14,159	13,197	△ 962																																				
退職給付に係る負債	2,116	2,134	17																																				
その他の固定負債	2,151	2,168	17																																				
負債計	25,529	23,954	△ 1,575																																				
株主資本	11,034	10,925	△ 108	親会社株主に帰属する四半期純利益 382、配当 △206																																			
資本金	2,261	2,261	－																																				
資本剰余金	1,839	1,839	－																																				
利益剰余金	6,946	7,122	176																																				
自己株式	△ 12	△ 297	△ 285																																				
その他の包括利益累計額	46	52	6																																				
非支配株主持分	1,190	1,196	6																																				
純資産計	12,271	12,175	△ 95																																				
負債・純資産計	37,800	36,129	△ 1,671																																				

※2024年度の期首より会計方針の変更を行ったため、2023年度の各数値は当該変更による影響について遡及適用後の数値を記載しております。

9. 各種経営指標

(単位：％、億円、人)

	2023年度		2024年度	
	第1四半期	期末	第1四半期	期末予想
連結ROA	－	4.8	－	4.6
連結ROE	－	9.2	－	9.1
連結EBITDA	917	3,430	981	3,430
連結減価償却費	395	1,633	399	1,730

	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数（就業人員）	45,897	22,262	44,366	21,314	46,294	22,150	－	－
金融収支	△ 46	△ 34	△ 191	△ 171	△ 42	△ 32	△ 184	△ 160
受取利息・配当金	4	16	9	30	5	16	10	36
支払利息	50	50	201	201	48	49	194	196

ネット有利子負債／EBITDA	－	3.9	－	－
自己資本比率	－	29.3%	30.4%	－
1株当たり当期純利益（EPS）	68.35円	202.63円	79.03円	205.16円
1株当たり純資産（BPS）	－	2,273.29円	2,295.65円	－

	2023年度		2024年度予想	
	中間	期末【年間】	中間	期末【年間】
配当の状況	57.5円	84.5円【142.0円】	36.0円	36.0円【72.0円】

※当社は、2024年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、2023年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株あたり当期純利益（EPS）」及び「1株当たり純資産（BPS）」を算定し記載しております。なお「配当の状況」における配当金額は、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

※2024年度の期首より会計方針の変更を行ったため、2023年度の各指標の数値は当該変更による影響について遡及適用後の数値を記載しております。

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 感染症の発生・流行
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2024年8月1日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2024年8月1日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>